

放課後等ディサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2020年12月12日
事業所名: 夢門塾ゆうゆう笠岡2組	

※あてはまるところに○印し、改善点等ご記入ください

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	4			・利用定員が多い時は運動ルームの人数を分けるなどの工夫をしている。 ・必要に応じて運動ルームも使用している。 ・机の配置等を工夫し、広いスペースを使えるようにしている。
	②	職員の配置は適切である	4			・適切な人数を配置している。 ・当日の動きを確認し役割を振り当てている。 ・職員同士で気を付けて声掛けをするようにしている。
	③	衛生面の管理が行き届いている	4			・朝、夕と毎日掃除をしている。食事やおやつ時には消毒をしている。 ・手指消毒などを用意している。 ・コロナ対応もあり、さらにドアノブや扉等皆が触る場所の消毒も念入りにしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4			・職員研修がよくある。 ・それぞれの目標を達成できるように取り組んでいる。目標を振り返る機会が毎月あればよりよい。 ・問題があれば話し合い、改善点など職員の意見を聞き個々の対処法を記録している。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	2	2		・保護者へのアンケート調査をし、意見を生かせるようにしている。 ・評価表での保護者の意見を大切にし、改善できるところは話し合い、全員で同じようにできることを目指したい。
	⑥	自己評価の結果を公開している	4			・自己評価の結果を集計し、ホームページで見られるようにしている。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	4			・朝のミーティングや職員会議で研修を行っている。 ・毎朝のミーティングで子どもに対しての対応が良かったかを話し合い、共通理解をしている。 ・会議・研修を定期的に行い参加できる環境を確保している。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	4			・子どもと保護者のニーズや課題を配慮して計画を立てている。 ・夢門塾での課題、ご家庭での課題を把握し、課題としている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	4			・職員間で相談しながら計画をしている。 ・今までの活動記録を参考にし、改善できるようにしている。 ・かれんだけにプログラムを記入し、一覧できるようにしている。皆で記入するようにしている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	4			・職員で役割分担をして計画をしている。 ・同じものばかりにならないように意識をしている。 ・担当を順番にし、各職員の意見を問い合わせるようにしている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	4			・休日、長期休暇時には実施計画を立て、細かい配慮をしている。 ・子ども達が飽きないように休日、長期休暇は平日とは違う運動や活動を取り入れている。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4			・集団活動ができるにくい児童には職員が付き、個別支援をしている。 ・集団活動が苦手な児童には個別に運動をしたり、自由時間には集団で遊べるように関わっている。 ・体調やその日の様子に合わせて変更している。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			・来所する児童に合わせて職員間で役割分担をして支援をしている。 ・特に支援が必要な子には声掛けをする職員を決めるなど細かい配慮をしている。 ・役割を明確にして、表にすることによって各職員が分かりやすいうに
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			・指導記録を取るとともに児童の対応の仕方について相談している。 ・記録をまとめ資料とすることを強化したい。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4			・モニタリングをする前に資料を作りモニタリングに生かせるようにしている。 ・モニタリングを行い、計画の見直しの判断が出来ている。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4			・児童の実態に合わせて支援をしている。 ・全ての把握までは出来ていないので読み直すことが必要。

関係機関、保護者様との連携	⑯ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている	4			・下校時刻表などを保護者からいただき、送迎の時間の確認をしている。 ・管理者を中心に行えている。学校とは送迎時に情報共有をしている。 ・保護者に予定表などを提出してもらったり、口答、電話などで調整し、把握している。
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている		4		・まだできていない為、今後の課題とする。
	⑲ 子校を卒業し、成蹊夜寺ノイリース事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供していく		4		・まだ、移行する対象児童がいない。
	⑳ 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2		・研修会に参加し専門機関の助言や研修を受けた。
	㉑ 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	4			・保護者からの連絡を受けて、管理者と相談しながら支援をしている。 ・子どもの成長が見られた場面は積極的に伝えるようにしている。
保護者様への説明責任等	㉒ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			・管理者がしている。 ・保護者目線で子どもの事が考えられるよう経験を積みたい。もっと保護者と会話が出来るようにする。 ・契約時に丁寧に分かりやすく説明することを心掛けている。
	㉓ 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	2	2		・管理者がしている。 ・保護者目線で子どもの事が考えられるよう経験を積みたい。もっと保護者と会話が出来るようにする。 ・自分で判断がつかない場合は、エリアマネージャーなどに相談し、後日お返事をさせていただいている。
	㉔ 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	—	—	—	コロナ対策のため本年度は開催が困難であった
	㉕ 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			・管理者と相談しながら対応している。 ・管理者への伝達を迅速に行えるように気を付けたい。 ・何かあれば職員に周知し、対応策を考え、みんなで共通理解が出来るようにしている。
	㉖ 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	4			・「夢だより」「月間行事予定」「ブログ」等で発信している。 ・保護者に子どもの日常が伝わるよう様々な姿が写った写真を広報誌にのせるようにしている。
	㉗ 個人情報保護に十分注意している	4			・守秘義務を守っている。 ・写真による情報の漏れに特に注意し、チェックを重ねている。 ・全員で徹底をしている。
	㉘ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			・相手にこちらの意向が伝わるように言葉を選ぶことを慎重にしている。 ・文字やイラストで表示したり、選択肢を示し、選んでもらうなど工夫をしている。
	㉙ 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている		4		・地域の情報を積極的に取り入れるようにしたい。
	㉚ 緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	4			・意識を高く持ち、各マニュアルを定期的に確認するようにしたい。 ・各マニュアルに目を通し、皆で周知できるようにする。
	㉛ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	4			・定期的に避難訓練を行っている。 ・企画書を作成し、計画通りに行っている。 ・年2回(津波・火災・地震)と内容を変えて行っている。
非常時などの対応	㉜ 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			・職員の研修を通して適切な対応をしている。 ・アンガーマネジメント研修により虐待に繋がる可能性を下げられるよう、怒りへの対処法を学んだ。
	㉝ いかなる場合も身体拘束を行つかないについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載	4			・身体拘束はしていない。
	㉞ 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	4			・昼食後に薬の服用がある際は、与薬依頼書を気に有していただき、薬の管理に気を付けて保管し、きちんと飲めていることを保護者に送迎時におつたえしている。(今年度の服薬者はいない)
	㉟ ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	4			・ヒヤリとしたことを記録に残し共有している。 ・各自でヒヤリとしたことを記入し、意識できるようにしている。 ・月に2枚以上、配布し、記入。回収後に職員会議で話し合い、今後に生かしている。

保護者様評価、自己評価についてまとめ

- ・今回も保護者様の評価をいただき、改善していく課題が明確になりました。「よくわからない」というご意見や、周知されていない事を減らしていくためには、こちらのお伝えの仕方の工夫が大切だと気付きました。コロナが落ち着いたら、お子様がどのように過ごしているのかも見ていただけるような機会も作っていきたいです。
- ・職員は細かいことにも気を配り、支援をしてくれているが、まだ保護者様と職員との認識の違いがある。保護者様にも、職員にも丁寧な説明をし、同じ認識を持てるように努力していきたい。